

# きもの

《法蔵館文庫》

せがわきよこ  
瀬川清子「著」（民俗学者）

文庫判・並製カバー・三二〇頁・本体一、四〇〇円＋税

2025 年 7 月刊行



祖先が紡ぎ、織りなし、纏った、今は失われてしまった「きもの」とは？柳田國男の薫陶を受けた著書が生活の中で着衣された普段着としての「きもの」とその背後にある民俗を丹念に掘り起こし描く生活の文化誌。解説Ⅱ畑中章宏

## 【目次】

### 自序 しなぬの

一 東北のマダ／二 九州のヘラ  
ふじ袴

一 袴布／二 藤布／三 イラの布  
麻衣

一 麻を播く／二 糸こしらえ／三  
糸宿／四 糸に燃る／五 麻に関する  
語彙

麻布から綿布へ  
一 村人の麻布の生活／二 町の人々  
の木綿の生活

仕事着  
一 上半衣と腕貫・手甲／二 下半衣  
と脚絆・甲掛／三 前掛／四 帯／五  
袖なし／六 被りもの

服装問題の根底によこたわるもの  
糸機之道  
一 棉の由来／二 糸車のひびき  
袖

寝具と寝室と、藁と綿  
藁のふとん  
一 藁の寝室／二 藁床／三 薦・筵・  
蓆・畳／四 床の間／五 藁入のふとん  
服装と婦人の生活

一 仕事着のこと／二 生活と衣服／

ボトの話  
三 筒袖のはじめ／四 三角袖全盛へ  
一 下着ボト／二 ハダコ／三 ボト  
とツヅレ／四 裂織／五 ボトの一覧  
表／六 針の目

晴着考  
一 被りもの／二 肩衣と背守り／三  
帯と襷／四 むすび

編の話  
一 女の子の遊び／二 編むこと／三  
編の話

昔の制服  
一 産衣／二 七・五・三の祝着／  
三 元服／四 主婦のしるし／五 厄  
年のきもの／六 被り物・帯・袴に関  
する語彙

農服研究とその資料  
一 蒐集のために／二 着物の形とは  
たらき／三 きものの名称／四 技術  
／五 着る心

再刊のあとがき

解説 当事者性の民俗学 「畑中章宏」  
索引

【著者略歴】1895 年、秋田県鹿角郡毛馬内町（現鹿角市）生まれ。本名キヨ。東洋大学専門部倫理学東洋文学科卒業。第一東京市立中学校の教壇に立つかたわら、柳田國男に師事。山村生活調査、海村生活調査に参加し、1937 年には日本民俗学講座婦人座談会（女の会）を始める。民俗学研究所、日本民俗学会などに所属し、民俗調査を重ねる。大妻女子大学教授、東京女子大学講師を務めた。1984 年二月二〇日逝去。1980 年「エイボン女性年度賞（教育賞）」受賞、1981 年『女の民俗誌——そのけがれと神秘』（東京書籍、1980 年）で第 20 回柳田（國男）賞受賞。著書には、『婚姻覚書』（講談社、1957 年）、『女のはたらき——衣生活の歴史』（未来社、1962 年）、『日本人の衣食住』（日本の民俗 2、河出書房新社、1964 年）、『食生活の歴史』（講談社、1968 年）、『沖縄の婚姻』（岩崎美術社、1969 年）、『海女』（未来社、1970 年）、『アイヌの婚姻』（未来社、1972 年）、などがある。

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

民俗学・日本史

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 注文書      |                             |
| (書店名)    |                             |
| 様        | ご担当                         |
| 冊        |                             |
| 法蔵館      | 瀬川清子著                       |
| 一、四〇〇円＋税 | きもの 【法蔵館文庫】                 |
| 住所       | お名前                         |
| お電話      | ISBN978-4-8318-2702-9 C0121 |